



水に感謝

Appreciation for Existence of Water

福嶋良助
Ryosuke Fukushima

EICA 名誉会員

73歳を越えた今京都郊外の田舎で平々凡々と穏やかに生活しています。定年を機に今まで飼ったことのない犬を買い（柴犬です）、毎日1~1.5時間（距離にして約4km）の夕方の散歩が日課です。犬の散歩は雨の日でも必須で毎日、すでに7年以上になります。散歩のコースに桂川上流の大堰川があり、その川辺で休憩を取りほっと水面を見ながら“私の人生”を反芻するときがあります。柴犬は従順で30分でも待っています。この河川水を見ながら思いめぐらす『水というもの』の存在に改めて感慨にふけております。私の人生でずーっと付き合ってきた対象です。

また犬を飼うことで生き物の世話が、毎日毎日面倒を見なければならぬ大変さを痛感しています。これは子育てを任せてきた家内（女性の方々）に感謝しなければならないことに気づかして頂きました。この年になって初めて……。

最近はずいぶん夢を見なくなりましたが、時に不意に夢を見ることがあります。夢の内容は定かではないのですが、会社勤務（開発業務を担当していた後半）の事と思われる状況で〈えらい事になった！！、どうするの！〉と追い詰められている夢です。目が覚めれば何故今更夢に出てくるのか不思議ですが、昔の失敗を深層心理に残しているように思います。

私が仕事として関わってきた『水』

『水』については夫々の分野の専門家が居られますので、私が言う必要もないのですが真に重要・貴重な存在と言えます。

- ・我々の生活に不可欠なもので基盤となるインフラ
- ・人間には真水（淡水）が必要ですが、地球上での使用できる淡水は全体の0.01パーセントしか存在しない貴重なもの
- ・人間だけでなくあらゆる生物の命にかかわっている（なければ干乾びて死ぬ）
- ・その存在形態は気相（水蒸気）・液相（水）・固相（氷）として存在しそれぞれの役割を果たしている
- ・地球環境を構成し維持する不可欠な物質

・宇宙空間での興味は水が存在する天体の発見や生物の発見・痕跡

等々その存在価値を列挙するには枚挙に暇がありません。身近な私達生活周辺の重要性や大きくは地球自体の稀有な存在にかかわっています。

私は入社以来40年、殆どの期間“水質の計測機器の開発”に従事してきました。上記のようなすべての分野で関わったわけではありませんが水に含まれる物質や濃度を計測することは、新しいものを開発・製造する為に必要です。また安定した条件の水質維持には計測データが必要です。

私の人生でこのような分野で関わったことは結構満足し、また幸せでした。どれだけの貢献を果たせたかは別として。異業種のお客様との接点や本学会でのお付き合いで大変勉強させていただきました。また感性を育てていただき私の人生観にも影響を受けました。

水の特徴を極めて良く表しているフレーズに『水に流してしましましょう』というのがあります。このフレーズは物性的に最も柔軟に溶け込ませる水の溶媒能力によるものと思われます。問題がぎくしゃくして前に進まないとき一旦保留し環境改善を図るときに使用します。また水の存在は潤いを連想します。潤いは豊かな人間関係を生みます。大切ですね。

古希を過ぎ、犬の散歩をしながら自分がどのように社会と関わってきたのか振り返ることが時々あります。多くは自分の不甲斐なさとしての反省になりますが、過去は今更どうにもなりません。と言うことは“今”を大切に感謝をもって生活していきたいと思っています。EICAの学会は水やその周辺の課題に関連した研究をされているところです。きわめて重要な分野を対象にされています。

今後もEICA関係者の皆様のご活躍を願っています。